



ほうさくClub!



「噴霧器」

小さな家庭菜園でも噴霧器は必須アイテムの1つです。病害虫防除の薬剤散布、除草剤散布だけでなく、肥料の葉面散布にも使います。今回は相談が多い噴霧器についてお話しします。

管理

どれを選べばいいか悩んだら、グリーンファーム店に聞いてね！



●水通し
 使用後そのまま放っておくと詰まって故障したり、凍みて割れたりしてしまいます。使用したら必ずしなげればならないのが「水通し」「水抜き」「ガソリン抜き」です。

●水抜き
 長期保管の場合はホースやノズルなどをすべて外し、本体の残った水も払って乾燥させます。特に冬期は必ず行いましょう。また電池やバッテリーは寒い場所に移動しておいたほうが長持ちします。



噴霧器とは

水に溶いて散布するタイプの農薬を使用するときは、作物の全面に薬液を付けることが大事です。特に病原菌や害虫は葉の裏に多いことが多いので、葉の裏に丁寧に薬液をかけることでより効果が出ます。ジョウロなどで上からかけるだけではムラができ満足できる効果が得られず、しかも薬液が大量に必要になり無駄が多くなります。なので、薬液を霧状にして薄く広範囲にまんべんなく濡らすことができる噴霧器を使うのが最適です。

除草剤も同様で、ジョウロだと必要以上に薬液が出てしまい無駄になります。ただし霧状の噴口だと風に舞いやすく、枯らしたくない植物まで枯れてしまったり、すぐに乾いてしまって効果が薄くなる場合があります。風の強いときに地面近くで散布するのが基本ですが、飛び散りにくく濡れている時間が長い泡状になる噴口を使ったり、カバーを付けたりとより良いです。

肥料を即効的に使いたいときに液体肥料を作物に振り掛けるのが葉面散布です。吸収しやすい葉の裏にかけられる噴霧器の使用が適しています。

●ガソリン抜き

エンジン式の噴霧機のみならず農業機械全般に言えますが、残ったガソリンをそのままにしておくことは動かなくなる一番の原因です。使い終わったらガソリンがなくなるまで動かしておき、機械からガソリンをきれいに空にしておきます。

なお、病害虫防除用と除草剤用は、別々に噴霧器を用意しておく方が安心です。

噴霧器は使用別にわけて用意しよう



使用後はしっかりと管理することで機械の寿命を長くして、トラブルの発生をおさえるよ



種類

ごく少量しか使わないのであればスプレータイプの容器でよいでしょう。ただし、葉の裏などをみすみみまで散布すると意外に握力を使うので疲れます。

安価で省エネで利用したい場合は、手動式の噴霧器がおすすめです。タンクを背負い片手でレバーを漕ぎながら散布するタイプと、自転車の空気入れのように空気圧を高めて散布する蓄圧タイプのものがあります。

スイッチを入れるだけですぐに使えるのが乾電池式やバッテリー式です。騒音や振動も少なく軽量で、女性にオススメです。最近人気なのはバッテリー式です。何度も充電できるので乾電池より経済的です。

充電式よりパワーがありバッテリーの消耗の心配もないのがエンジン式です。高い木にも届くので、広範囲で高い動力を必要とする場所に適します。



おすすめ資材

「噴霧器SP-10J」15,300円(税込)

軽く動かせるレバーで、ラクに高圧噴霧が可能！付属噴口が3種類もあり、用途別に使い分けできる！きつと満足できる防除ができます。

○お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までどうぞ
 ※店舗によってはお取り寄せになる場合がございます。



ほうさくClub! に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店 ☎29-8177 ◎東部店 ☎62-0665
 ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400 ◎しおだ店 ☎39-8118